

たばたあずみ



Tell・Fax 550 6674

山根とみえ



Tell・Fax 550 4224

戸沢ひろゆき



Tell・Fax 558 9721

12月市議会 たばたあずみ議員の一般質問

日本共産党のたばたあずみ議員は、12月市議会(1)ファミリーサポート事業について (2)原発事故に関する市の対応について (3)学校施設整備について 質問しました。以下、質問の要旨をお知らせします。

放射能測定 一歩前進!

放射線測定を含めた原発事故の対応について、日本共産党市議団は、これまでも再三の要望を行い、議会でも取り上げてきました。12月に入り、市が測定箇所を大幅に増やしたことを評価し、その詳細について質問しました。市は、ポケット型測定器5台、精度の高い測定機1台を購入し、学校や保育園、公園などを所管課が測定、国の基準である0.23μsv/hを超えた地点で除染を行う、民間の土地で高数値の報告があった場合には測定に行き、除染のための助言はするが、除染や汚染土の処分は自力・自区内処理(元の土地に埋める)で、と答えました。

たばた議員は、当市で必要とされるレベルの除染方法を独自に手引きとしてまとめてあれば、民間の土地で除染の必要が出たときの混乱やトラブルを防げると提案。春からの木の葉が朽ちないうちの、広く、細かい

秋川体育館西側で高数値が



測定と手引の作成を求めました。

また、たばた議員が食品について市独自の基準値を作ることを求めたのについては、市は独自に定めても意味がないとしましたが、食品の測定は消費者庁の食品放射能測定器が支給されたら、なんらかの形でやりたいとこたえ、たばた議員は、仕組みづくりに役立つ交付金の利用を提案しました。

その後、消費者庁からの機器の支給が決定し、市では現在、商工観光課を中心に食品の測定体制をつくっています。機器の配布は未定ですが、設置され次第、小中学校や保育園・幼稚園の給食、ファーマーズセンターなど、当面はこどもたちにかかわる食品を中心に測定を実施する予定とのことです。

法律相談

2月23日(木) 13時30分~15時
予約が必要です。市議団までご連絡ください。

さらに安心のファミリーサポートに

ファミリーサポートは、自治体がカバーしきれない子育て支援のニーズを有償ボランティアが補うサービスです。しかし、2006年以降の5年間に、全治一か月以上の重篤な事故が8都道県で15件起きています。当市では安心してサービスを提供・利用できる体制になっているかとの質問に、市はサービス開始の平成17年より事故はなく、講習も十分行っていると答えました。

たばた議員は、市のていねいなかわりを評価したうえで、登録者・利用者が少ないことを指摘。母子家庭や父子家庭、とくに収入の少ない世帯への利用料金の軽減を提案しました。市からは、利用状況を見ながら考えたいと、前向きな答弁がありました。

水道の赤サビ

壁のひび

学校の老朽化に対策を!

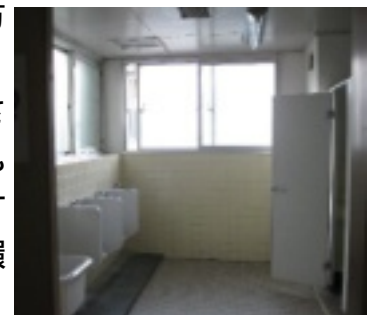
くさいトイレ

古いプレハブ

市議団で行った市内の小中学校の視察をもとに、赤サビの出ている水道やくさいトイレなど、早急な対応が必要ではとの質問をしました。

市は、耐震化が優先したため、大規模改修が中断しており、小規模な補修をしていると答弁。水道については、サビが出ていることを調査し確認、無害ですが、フィルターを取り付けたと説明。トイレは月4回の業者の清掃に加え、管理の指導を行うとのこと。校舎のひびについては耐震改修時にチェック済みで、問題なし。特別支援学級に使われているプレハブは、古くても冷暖房は完備、東京都の計画変更の可能性もあり、今後の研究課題であると説明しました。

たばた議員は、エアコンについても、2011年夏の教室の気温データでは、小学2年生の教室で9時半から35度以上だった日何日もあったこと、深刻な熱中症が発生しなかったのは、先生方の工夫によるものと指摘。今後、いろいろな補助をさらに活用して、エアコンも含めた学校設備の改善をすすめ、こどもたちの学習環境を守るよう要望しました。



型の古いトイレ